

正念寺だより

十月九日に正念寺御正
忌報恩講を勤修。

大阪教区第六組の六ヶ寺の住職方も出勤していただき、賑々しくお勤めして頂きました。
昼夜の座、併せて三十名を超える門徒さんに御参詣いただきました。ありがとうございます。
合掌



一年で一番きれいにお荘厳された本堂内陣

正念寺参拝バス旅行 11月16日(月) 参加費 8,000円

集合・出発 8:30
正念寺南側 (松虫通り沿い)

10:00 - 11:30

青龍殿参拝 舞台散策

12:00 - 14:00

昼食 がんこ高瀬川二条苑

14:00 - 15:00

錦市場散策

15:30 - 16:30

伏見稻荷参拝

18:00 帰阪



青龍殿の建物とともに清水の舞台の約5倍、延面積1,046㎡の大舞台です

旬の京都の秋を満喫下さい。

2015年
10月20日
発行NO、179

別の場所でバスの乗り降り希望される方は、住職に相談下さい。

住職閑話

「順調に弱っています。」

淀川キリスト教病院の名譽院長の柏木哲夫先生が、五十歳の末期癌の女性を回診したときの話。「いかがですか？」と声をかけた時患者さんは「先生お世話になってます。おかげさまで順調に弱っています。」といたずらっぽく微笑まされて、患者さんによっていたわられたと感じたと著書に書かれています。

最近門徒さんとお話をしていると、ご自分の老いていく姿が受け入れられなくて、「こんなはずやなかったのに」という悔しい思いをよく耳にします。

今まで出来ていたことが、出来ないとか、大変時間を要するようになったとか、確かに辛かろうと察します。いくら抵抗を試みても、老いには勝てません。そんな時私が「順調に弱って来はりましたな。」とお声かけすると、思わず笑みがこぼれることがあります。

老病死は避けられませんが、ユーモア精神は持ちたいものです。